

学校名 川越市立大東中学校
所在地 川越市南大塚1-20-1
電話 049-243-3738

1 本校の概要

本校は1～3学年まで合計16学級の中規模の学校である。学校図書館がとても狭く、利用しやすい環境ではないが、生徒の利用は比較的多い。よく貸し出されているのは9類の本だが、歴史や自然に関する本もよく読まれている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書活動に係る取組
- ・ 図書整理員を活用した取組
- ・ 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組

(2) 実践の概要

読書活動の充実・活性化という視点から、図書委員会による「おすすめ本」の紹介、「しおりキャンペーン」、図書新聞の発行等を行った。また、学力向上をねらった言語活動では、国語の時間で好きな本のポップ作りや、市内の作文集を読んで感想文を書いた。そして学校図書館司書と連携し、ブックトークを行った。

ア おすすめ本の紹介

前期の委員会では、「図書委員のおすすめ本」について、ポスターや、お昼の放送を利用して紹介した【図①参照】。

【図①：図書委員のおすすめ本】

ポスターは図書室前にある、各学年の廊下に掲示した。

後期の委員会では、図書委員が教職員にインタビューし、「教職員のおすすめ本」について



【図②：教職員おすすめ本】

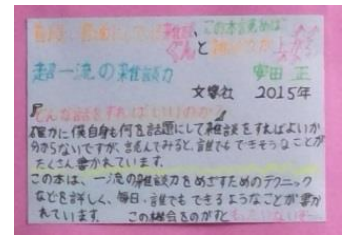
【図③：しおりキャンペーン】

や放送で紹介した【図②参照】。また、読書活動を活性化させるため、全校生徒から募集したイラストをし

おりにし、本を借りた生徒にプレゼントする取組である「しおりキャンペーン」を行った【図③参照】。

イ 授業での実践

物語文を学習した際、学んだことを活かしてポップの作成をした。



【図④：生徒が作成したポップ】

また、市内で発行している作文集「かりがね」を読み、他の生徒の作文に手紙形式で感想を書き、交流する活動を行った。

ウ 図書整理員によるブックトークの実施

本校で毎年行っているブックトークには、外部講師を招いていたが、今年度は本校に勤務している図書整理員がブックトークを行い、多くの好評を得た。



【図⑤：図書整理員がブックトーク時に使用した本】

3 成果と今後の課題

(1) 成果及び課題

ア ポスターや放送で本を紹介したことで、本を借りる生徒が増えた。「教職員のおすすめ本」についても多くの生徒が関心をもった。紹介された本が学校図書館に無いことも多々あるので、市立図書館と連携し、貸出に備えることを今後の課題としたい。

イ 同年代の生徒が書いた作文やポップを読むことで、読書意欲の喚起だけでなく、生徒自身の表現力の向上の一助となった。

ウ 生徒が好む本の傾向について熟知している図書整理員による本の紹介は、多くの生徒の心をひきつけ、紹介された本を借りる姿も多くみられた。今後も継続していきたい。